不二製油株式会社

FY2026 Q2

2026年度 第2四半期
決算説明会資料

2026年11月11日

目次

不二製油株式会社

1. 2026年度 第2四半期実績

2. 2026年度 通期業績予想

3. 参考資料

1

2026年度
第2四半期実績

2026年度 第2四半期実績

不二製油株式会社

2026年度 第2四半期実績

（単位：億円）

	FY2025 2Q累計実績*1	FY2026 2Q累計実績	前年同期比
売上高	3,757	**3,605**	▲152
事業利益	150	**208**	+57
親会社の所有者に帰属する中間利益	83	**125**	+42

売上高 3,605億円 前年同期比 ▲152億円

植物性油脂事業は増収も、業務用チョコレート事業ブラマーにおけるカカオ相場下落に伴う販売価格低下により減収。

事業利益 208億円 前年同期比 +57億円

業務用チョコレート事業ブラマーでのカカオに関連した特殊要因（以下、カカオ特殊要因）の費用減少、大豆加工素材事業でのプロテイン需要の拡大を捉えた販売数量増加を主因に増益。

親会社の所有者に帰属する中間利益 125億円 前年同期比 +42億円

業務用チョコレート事業の改善や、
大豆加工素材事業の事業利益伸長により増益。

＊ 上記の連結業績は億円未満を四捨五入した数値を表示。
*1 2025年度の植物性油脂事業において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、確定後の事業利益の値を反映。

2026年度 第2四半期実績／事業別

2026年度 第2四半期実績／事業別

（単位：億円）

	FY2025 2Q累計実績*1	FY2026 2Q累計実績	前年同期比
売上高	3,757	3,605	▲152
植物性油脂事業	1,319	1,380	+61
業務用チョコレート事業	1,803	1,564	▲239
乳化・発酵素材事業	469	479	+10
大豆加工素材事業	165	181	+16
事業利益	150	208	+57
植物性油脂事業	183	152	▲32
業務用チョコレート事業	▲35	48	+83
乳化・発酵素材事業	4	0	▲4
大豆加工素材事業	0	8	+8
連結調整	▲2	0	+2

植物性油脂

- チョコレート用油脂（CBE）の販売は堅調に推移。
- 原材料価格安定による利益が前年同期から縮小。

業務用チョコレート

- ブラマーではカカオ特殊要因の費用減少に加え、チョコレートの販売数量が回復。
- ブラジル、アジアではコンパウンドチョコレートの販売が堅調に推移。

乳化・発酵素材

- 日本ではクリームやマーガリンの販売数量が増加。
- 中国では景況悪化の影響が継続。

大豆加工素材

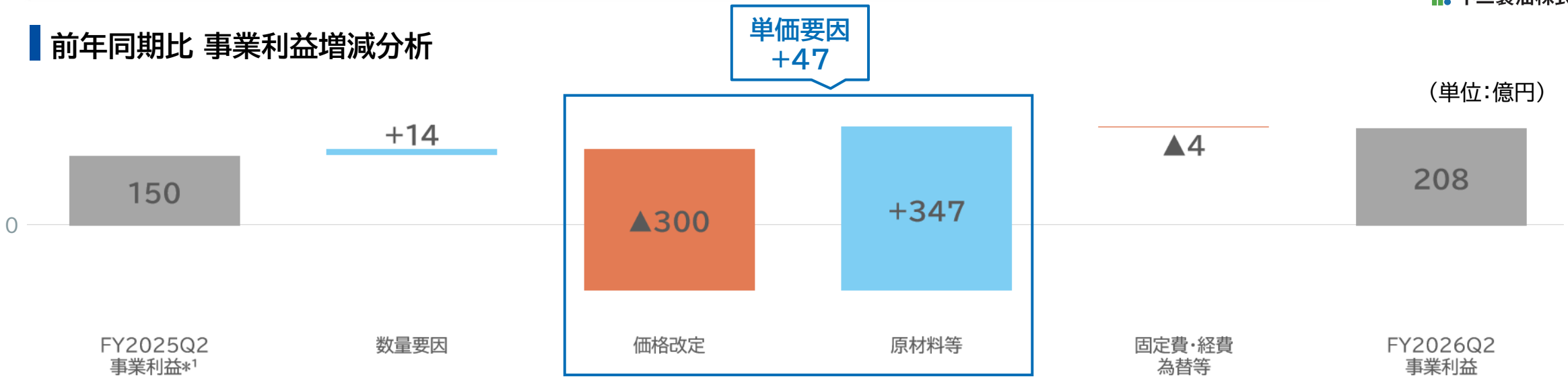
- プロテイン需要の拡大を捉え、大豆たん白素材の販売数量が増加。

＊ 上記の連結業績は億円未満を四捨五入した数値を表示。
*1 2025年度の植物性油脂事業において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、確定後の事業利益の値を反映。

2026年度 第2四半期　事業利益増減分析

不二製油株式会社

前年同期比 事業利益増減分析



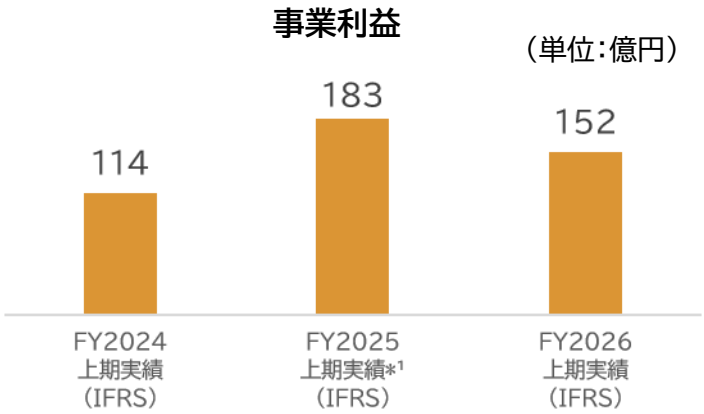
数量要因	植物性油脂事業のチョコレート用油脂（CBE）や 大豆加工素材事業のプロテイン向け大豆たん白素材の販売数量が増加。
単価要因	ブラマーにおけるカカオ相場下落に伴う販売価格の低下はあるが、 カカオ特殊要因の費用減少により、単価要因はプラス。
固定費・経費 ・為替等	為替円安による増益効果があったが、人件費等の固定費が増加。

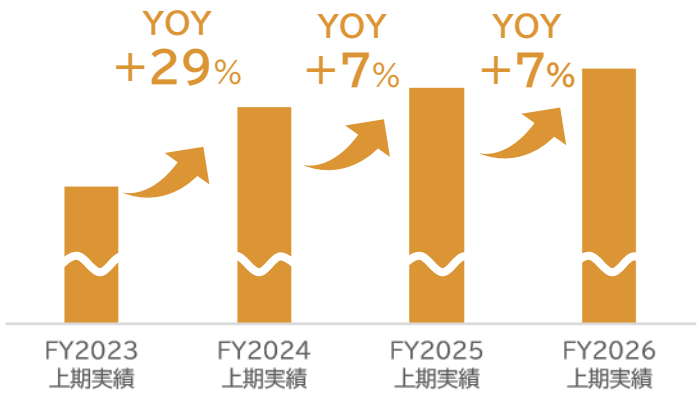
*1 2025年度の植物性油脂事業において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、確定後の事業利益の値を反映。

植物性油脂事業

不二製油株式会社

チョコレート用油脂(CBE)の需要は堅調も、下期のリスクを注視。





上期の進捗

原料差益の剥落により前年同期からは減益も、期初想定以上の着地。

日本 CBEの販売数量は顧客での採用拡大により増加。

欧米 北米ではCBEの販売数量は増加したが、
フライ用油脂の販売数量が減少。

アジア CBEの需要は継続も、
一部契約における販売価格が前年度から平準化。

下期の見通し

下期には以下のリスクを注視。
・北米、欧州チョコレート菓子市場の消費停滞
・CBE未契約分における販売価格調整

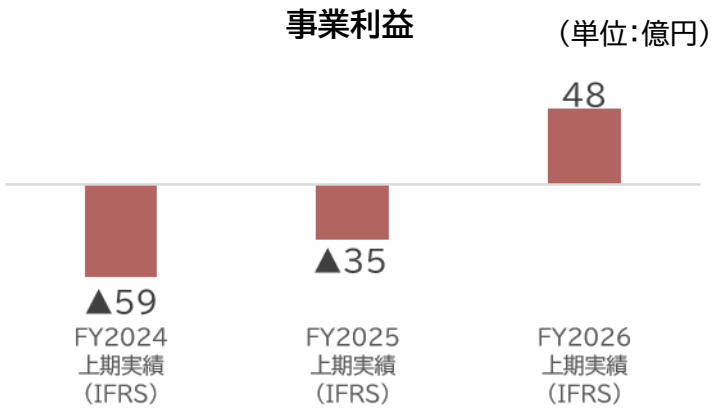
安定的な利益創出に向け、状況に応じた販売施策を推進。

＊2025年度より国際財務報告基準(IFRS)を任意適用。2024年度実績はIFRSベースに組み替えて表示。
＊上記の連結業績は億円未満を四捨五入した数値を表示。
*1 2025年度の植物性油脂事業において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、確定後の事業利益の値を反映。

業務用チョコレート事業

不二製油株式会社

上期はブラマーの収益改善を中心に増益。下期はカカオ関連の高値在庫の解消により収益性改善を見込む。



上期の進捗

日本 天候影響に伴い冷菓向けの販売数量が減少。

欧米 ブラジルではコンパウンドチョコレートの堅調な販売や、製品の多角化等、施策効果により増益。

アジア 販売数量の増加が寄与し、増益。

下期の見通し

製品の多角化や、カカオ関連の高値在庫の解消により収益性改善を見込む。

ブラマー 業績

カカオ特殊要因（先物限月乗換コスト）による費用が減少したことを中心に、上期業績は前年同期比で改善。カカオ特殊要因の影響は上期で収束。第2四半期には2026年前半のカカオ相場の急変動による一過性の利益要因があり、下期には反動が入る見込み。

（単位：億円）

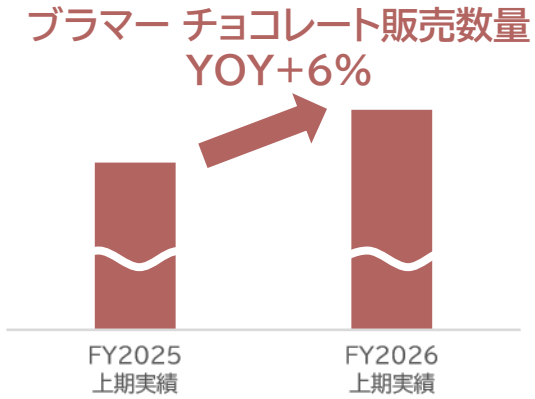
	FY2026 1Q実績	FY2026 2Q実績	FY2026 2Q累計実績	前年同期比 2Q累計
売上高	344	341	685	▲298
事業利益*1	▲15	14	▲1	+75

*1 連結調整前の数値。

ブラマー 販売動向

カカオ相場の下落局面において販売契約が進捗。前年同期比で販売数量が回復。

北米のチョコレート菓子消費は引き続き低調であり、今後のリスクとして注視。

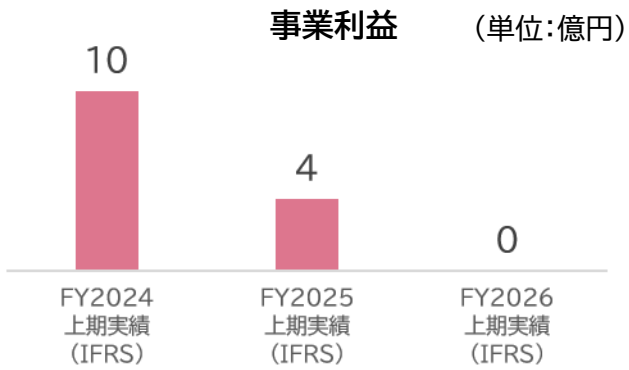


＊2025年度より国際財務報告基準（IFRS）を任意適用。2024年度実績はIFRSベースに組み替えて表示。
＊上記の連結業績は億円未満を四捨五入した数値を表示。

乳化・発酵素材事業 / 大豆加工素材事業

不二製油株式会社

乳化・発酵素材事業



上期の進捗

日本では製菓製パン市場を中心にクリームやマーガリンの販売数量が増加。
中国では景況悪化の影響が継続。

下期の見通し

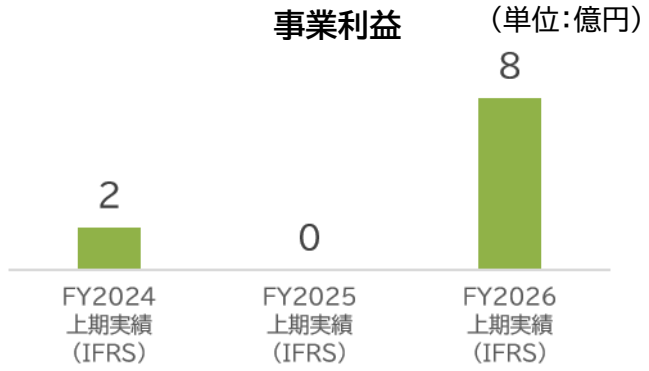
原材料価格上昇に対応した価格適正化の推進、
高付加価値製品群の拡販により、収益性改善を図る。

SUTTOFULシリーズ



乳化技術により、濃厚なのにスッと消える相反する体験がひとつになった、まったく新しい食感と味わいのフィリング製品。これまでにない特徴的なレシピ・メニューづくりに寄与。

大豆加工素材事業



上期の進捗

プロテイン需要の高まりを捉え、既存顧客向けの販売拡大や新規顧客の獲得が進み、大豆たん白素材の販売数量が増加。
中国では機能剤の採用が拡大し、販売数量が増加。

下期の見通し

原材料価格の上昇を見込むが、販売価格の適正化を推進。
プロテイン需要に向け、提案活動を強化。

プロリーナBUJ
（大豆たん白素材）



独自製法により耐酸性に優れ、酸性下で凝集・ザラつきの発生を抑えることが可能。加えて、低い粘性、良好な分散性と風味などの機能性を発揮し、味の選択肢の拡大に寄与。

＊2025年度より国際財務報告基準（IFRS）を任意適用。2024年度実績はIFRSベースに組み替えて表示。
＊上記の連結業績は億円未満を四捨五入した数値を表示。

今中期経営計画期間における投資状況

不二製油株式会社

今中期経営計画における事業投資・設備投資は順調に進捗。中長期的なチョコレート菓子市場拡大への対応が可能に。

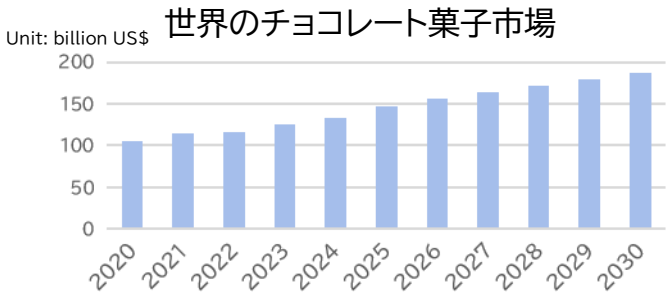
植物性油脂事業

2025年度上期	プロヴァンス ユイル／フランス 株式取得
2026年度下期 （予定）	JPG フジ／マレーシア 新工場稼働

業務用チョコレート事業

2025年度下期	**ハラルド／ブラジル** 新ライン稼働
2026年度上期	不二製油／日本 新工場稼働
2026年度下期	**ブラマー／北米** 新工場稼働
2026年度下期 （予定）	フジオイルヨーロッパ／ベルギー 新工場稼働
2027年度 （予定）	インダストリアル フード サービシズ／豪州 新工場稼働

今中期経営計画における業務用チョコレート事業への設備投資により、チョコレート菓子市場の中長期的な成長への対応が可能な供給体制を構築。



2025-2030
年平均成長率 **4.9%**

参照:Euromonitor Chocolate Confectionery 2026
Geography: world, category: chocolate confectionery
Data type: Retail Value RSP

ハラルド

2025年下期より新ラインが稼働開始。
製品の多角化が進み、収益性が向上。
更なる拡販を進める。



ブラマー

2026年下期より新工場が稼働開始。
設備増強によるキャパシティ拡大と
安定生産体制の構築により、
コンパウンド製品の展開を強化。



FUJI ROIC

不二製油株式会社

ブラマーの業績改善を中心とした業務用チョコレート事業の利益伸長により、全社FUJI ROICは改善。

事業別 FUJI ROIC

FUJI ROIC 税引後事業利益÷（運転資本＋固定資産＋持分法投資）	FY2025 2Q	FY2026 2Q
植物性油脂事業	8.6%	6.7%
業務用チョコレート事業	▲1.1%	1.2%
乳化・発酵素材事業	0.5%	▲0.1%
大豆加工素材事業	0.3%	1.7%
全社計	2.1%	2.9%

＊FUJI ROICは、2Q累計の税引後事業利益を用いて計算。
＊2025年度の植物性油脂事業において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、確定後の事業利益の値を反映。

FUJI ROIC改善に向けた主な施策

乳化・発酵素材事業

- 事業利益
  - 挑戦領域製品群の展開強化による収益性向上
  - 原材料価格上昇に対応した価格適正化の推進
- 運転資本
  - 原材料・製品在庫数量の適正化

大豆加工素材事業

- 事業利益
  - プロテイン需要拡大を捉えた拡販
  - 欧州機能剤事業の黒字化
- 運転資本
  - 原材料・製品在庫数量の適正化
- 固定資産
  - 製品ポートフォリオ入替を推進

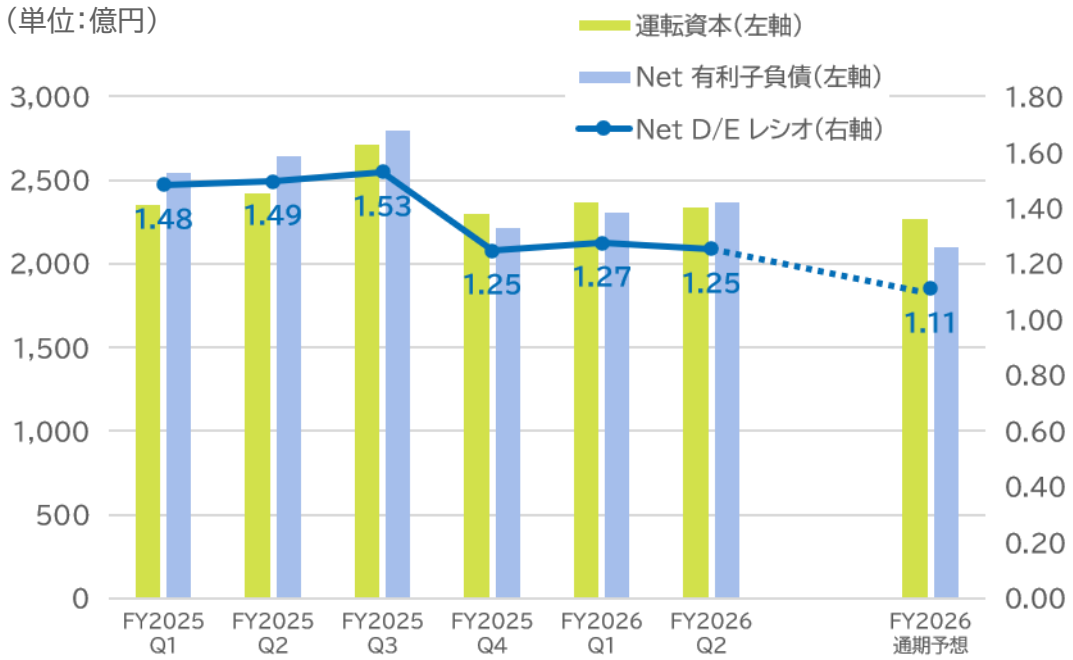
B/S、C/F

不二製油株式会社

運転資本、Net有利子負債は微増も、下期に改善を見込む。

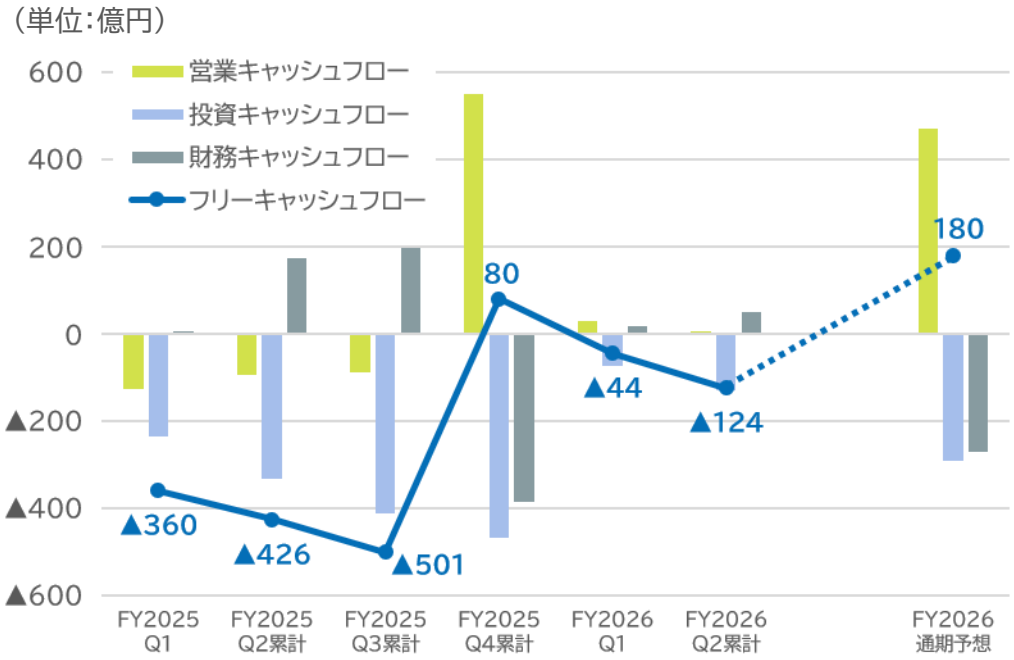
B/S

2025年度末比で設備投資や運転資本の増加に伴い、Net有利子負債が増加。引き続き運転資本の効率化とNet有利子負債の削減を進める。



C/F

運転資本による資金負担は継続も、
利益の伸長等により営業キャッシュフローはプラスを確保。
フリーキャッシュフローは第1四半期から悪化も、
第4四半期に向けて改善を見込む。



第2四半期：売上高・事業利益（事業別・所在地別マトリクス）

不二製油株式会社

（単位：百万円）

売上高	年度	日本	YOY	欧米	YOY	アジア	YOY	連結計	YOY
植物性油脂	2026 2Q実績（IFRS）	37,318	▲516	71,549	+2,095	29,146	+4,529	138,014	+6,109
	2025 2Q実績（IFRS）	37,834	+8,284	69,453	+22,121	24,617	+4,768	131,905	+35,174
	2024 2Q実績（IFRS）	29,549	-	47,332	-	19,848	-	96,730	-
業務用チョコレート	2026 2Q実績（IFRS）	31,806	▲407	100,313	▲26,169	24,291	+2,646	156,411	▲23,930
	2025 2Q実績（IFRS）	32,214	+7,375	126,482	+14,037	21,644	+3,019	180,341	+24,432
	2024 2Q実績（IFRS）	24,838	-	112,445	-	18,625	-	155,908	-
乳化・発酵素材	2026 2Q実績（IFRS）	31,444	+930	-	-	16,496	+77	47,940	+1,007
	2025 2Q実績（IFRS）	30,514	+1,384	-	-	16,418	+234	46,932	+1,619
	2024 2Q実績（IFRS）	29,130	-	-	-	16,183	-	45,313	-
大豆加工素材	2026 2Q実績（IFRS）	17,562	+1,350	82	+81	450	+146	18,095	+1,579
	2025 2Q実績（IFRS）	16,211	▲1,457	0	-	303	▲31	16,515	▲1,487
	2024 2Q実績（IFRS）	17,668	-	-	-	334	-	18,003	-
売上高計	2026 2Q実績（IFRS）	118,132	+1,357	171,945	▲23,992	70,384	+7,400	360,462	▲15,233
	2025 2Q実績（IFRS）	116,774	+15,587	195,937	+36,159	62,983	+7,991	375,696	+59,739
	2024 2Q実績（IFRS）	101,187	-	159,777	-	54,992	-	315,957	-

事業利益	年度	日本	YOY	欧米	YOY	アジア	YOY	連結調整	YOY	連結計	YOY
植物性油脂	2026 2Q実績（IFRS）	5,458	▲594	4,511	▲2,118	4,985	▲1,088	195	+623	15,151	▲3,178
	2025 2Q実績（IFRS）	6,052	+2,854	6,630	+1,727	6,074	+2,669	▲427	▲320	18,330	+6,931
	2024 2Q実績（IFRS）	3,198	-	4,902	-	3,405	-	▲107	-	11,398	-
業務用チョコレート	2026 2Q実績（IFRS）	1,694	▲1,085	966	+8,728	1,673	+313	441	+357	4,776	+8,313
	2025 2Q実績（IFRS）	2,780	▲44	▲7,762	+3,142	1,360	▲938	83	+163	▲3,537	+2,322
	2024 2Q実績（IFRS）	2,825	-	▲10,904	-	2,299	-	▲79	-	▲5,859	-
乳化・発酵素材	2026 2Q実績（IFRS）	439	▲247	-	-	▲475	▲233	40	+63	4	▲417
	2025 2Q実績（IFRS）	687	▲315	-	-	▲242	▲368	▲23	+100	421	▲583
	2024 2Q実績（IFRS）	1,002	-	-	-	126	-	▲124	-	1,004	-
大豆加工素材	2026 2Q実績（IFRS）	974	+591	▲383	+41	338	+139	▲111	+10	819	+783
	2025 2Q実績（IFRS）	383	+5	▲425	▲24	198	+4	▲121	▲128	35	▲142
	2024 2Q実績（IFRS）	377	-	▲400	-	194	-	6	-	178	-
連結調整	2026 2Q実績（IFRS）	12	+61	▲98	+171	39	+86	65	▲100	19	+219
	2025 2Q実績（IFRS）	▲49	▲45	▲269	▲278	▲47	▲5	166	+215	▲200	▲113
	2024 2Q実績（IFRS）	▲4	-	8	-	▲41	-	▲49	-	▲86	-
事業利益計	2026 2Q実績（IFRS）	8,580	▲1,274	4,996	+6,823	6,562	▲782	631	+954	20,770	+5,721
	2025 2Q実績（IFRS）	9,854	+2,454	▲1,827	+4,567	7,345	+1,361	▲323	+30	15,049	+8,414
	2024 2Q実績（IFRS）	7,399	-	▲6,394	-	5,983	-	▲353	-	6,635	-

＊2025年度より国際財務報告基準（IFRS）を任意適用。2024年度実績はIFRSベースに組み替えて表示。
＊2025年度の植物性油脂事業において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、確定後の事業利益の値を反映。

2

2026年度
通期業績予想

2026年度 通期業績予想

不二製油株式会社

上期は全体として想定を上回る推移も、下期のリスク要因を注視し、通期連結業績予想は据え置き。

通期業績予想

（単位：億円）

	FY2025 実績	FY2026 予想	前期比
売上高	7,723	7,540	▲183
事業利益	360	375	+15
親会社の所有者に帰属する当期利益	111	195	+84

＊上記の連結業績は億円未満を四捨五入した数値を表示。

上期の進捗

上期は植物性油脂事業、大豆加工素材事業を中心に、全体として想定を上回る推移。業務用チョコレート事業ブラマーについても第2四半期に改善が進捗。

下期の見通し

事業トレンドは継続も、以下のリスク要因を認識。

・北米、欧州チョコレート菓子市場の消費停滞
・CBE未契約分における販売価格調整

2026年5月発表の通期連結業績予想を据え置く。

3

参考資料

参考情報

為替レート

		2025年度 2Q	2025年度 期末	2026年度 2Q	前期比 差	前期比 増減率	2026年度 予想前提
$	P/L	146.04	150.77	159.37	+13.33	+9.1%	153.00
	B/S	148.88	159.88	157.35	▲2.53	▲1.6%	–
BRL	P/L	26.30	27.76	31.30	+5.00	+19.0%	28.80
	B/S	28.00	30.63	30.37	▲0.26	▲0.8%	–
€	P/L	168.06	174.79	184.35	+16.29	+9.7%	177.00
	B/S	174.47	183.41	178.34	▲5.07	▲2.8%	–
人民元	P/L	20.30	21.25	23.52	+3.22	+15.9%	21.50
	B/S	20.88	23.11	23.45	+0.34	+1.5%	–

・P/L:期中平均レート、B/S:期末レート
・P/Lは前年同期、B/Sは前年度期末(2025年度期末)を比較

設備投資額

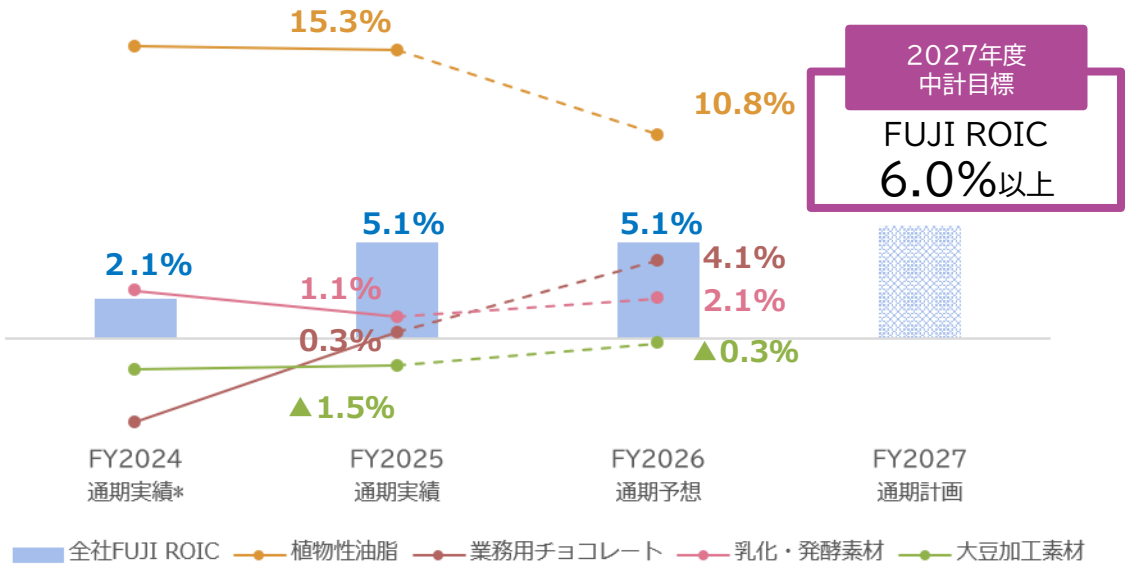
(単位:億円)

	FY2025 累計	FY2026 2Q累計
植物性油脂事業	75	34
業務用チョコレート事業	136	102
乳化・発酵素材事業	41	14
大豆加工素材事業	32	7
全社計	292	162

FUJI ROIC

*FUJI ROICは、2Q累計の税引後事業利益を用いて計算。

FUJI ROIC 税引後事業利益÷(運転資本＋固定資産＋持分法投資)	FY2025 2Q	FY2026 2Q
植物性油脂事業	8.6%	6.7%
業務用チョコレート事業	▲1.1%	1.2%
乳化・発酵素材事業	0.5%	▲0.1%
大豆加工素材事業	0.3%	1.7%
全社計	2.1%	2.9%



＊2025年度からのIFRS任意適用に伴い、FUJI ROICの算出式を変更。
2024年度実績は、IFRSベースの事業利益に組み替えて算出。

事業別業績推移

植物性油脂

（単位：億円）

	日本基準				IFRS	
売上高	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025	FY2026
1Q	290	492	457	477	632	719
2Q	326	522	471	490	687	661
3Q	347	523	469	550	698	
4Q	385	498	457	556	694	
通期	1,350	2,034	1,854	2,073	2,711	1,380

	日本基準				IFRS	
事業利益	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025	FY2026
1Q	21	16	31	44	89	84
2Q	22	17	44	64	95	68
3Q	14	19	42	72	83	
4Q	17	18	37	82	67	
通期	74	70	154	263	334	152

業務用チョコレート

（単位：億円）

	日本基準				IFRS	
売上高	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025	FY2026
1Q	417	479	550	736	876	754
2Q	459	576	616	823	927	810
3Q	502	619	701	861	1,023	
4Q	477	611	667	927	883	
通期	1,855	2,285	2,534	3,347	3,709	1,564

	日本基準				IFRS	
事業利益	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025	FY2026
1Q	11	10	4	29	▲33	5
2Q	17	17	3	▲95	▲2	43
3Q	24	14	▲10	▲113	49	
4Q	23	9	21	21	10	
通期	75	50	18	▲158	24	48

＊2021年度～2024年度は、日本基準の営業利益。2025年度以降はIFRSでの事業利益。
＊2024年度まで全社費用としてセグメントに配分していないグループ管理費用を、2025年度よりセグメントに配分して記載。
＊上記の業績は億円未満を四捨五入した数値を表示。
＊2025年度の植物性油脂事業において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、確定後の事業利益の値を反映。

事業別業績推移

乳化・発酵素材

（単位：億円）

	日本基準				IFRS	
売上高	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025	FY2026
1Q	190	225	215	221	225	235
2Q	187	221	222	231	244	244
3Q	218	252	243	259	265	
4Q	197	214	220	230	240	
通期	791	912	899	942	974	479

	日本基準				IFRS	
事業利益	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025	FY2026
1Q	7	2	6	9	1	1
2Q	3	▲2	9	9	4	▲1
3Q	7	9	16	13	9	
4Q	▲0	6	8	4	▲2	
通期	16	15	38	34	11	0

大豆加工素材

（単位：億円）

	日本基準				IFRS	
売上高	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025	FY2026
1Q	90	83	89	90	85	91
2Q	85	86	91	91	80	90
3Q	86	89	92	89	85	
4Q	80	85	83	81	78	
通期	342	343	355	351	329	181

	日本基準				IFRS	
事業利益	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025	FY2026
1Q	11	6	4	3	▲0	7
2Q	6	4	6	5	1	1
3Q	3	4	3	▲0	▲3	
4Q	0	▲1	▲2	▲1	▲6	
通期	21	13	10	7	▲9	8

＊2021年度～2024年度は、日本基準の営業利益。2025年度以降はIFRSでの事業利益。
＊2024年度まで全社費用としてセグメントに配分していないグループ管理費用を、2025年度よりセグメントに配分して記載。
＊上記の業績は億円未満を四捨五入した数値を表示。

主要指標（PL項目）

主要指標

大項目	項目	単位	備考	FY2025	FY2026（累計実績） 1Q	2Q	3Q	4Q	FY2026 予想
PL項目	事業利益	億円		360	96	208			375
	事業利益成長率	%		171.8%	74.0%	38.0%			4.0%
	EBITDA	億円		512	145	306			-
	設備投資	億円	有形固定資産の設備投資	292	100	162			-
	減価償却	億円	有形固定資産の減価償却費	174	45	92			-
	ROA	%	税引前当期利益÷総資産	3.8%	*1 4.7%	5.3%			4.7%
	ROE	%	売上高純利益率×総資産回転率 ×財務レバレッジ	5.0%	9.1%	10.3%			7.9%
	売上高純利益率	%	親会社の所有者に帰属する当期利益÷売上高	1.4%	3.1%	3.5%			-
	総資産回転率	回	売上高÷総資産	1.25	1.12	1.13			-
	財務レバレッジ	倍	総資産÷親会社の所有者に帰属する持分	2.7	2.6	2.6			-
	ROIC	%	営業利益×（1-法人税率）÷（期末株主資本+有利子負債）	4.1%	4.7%	5.1%			-
	EPS	円		129.60	64.81	145.19			226.79

＊ 過年度の実績値を遡及修正した場合は、当資料も遡及修正後の数値に基づき再表示。
＊ 上記の連結業績は億円未満を四捨五入した数値を表示。
＊1 ROA、ROE、ROIC：年間換算した参考値を記載。

主要指標(BS・CF項目)

主要指標

大項目	項目	単位	備考	FY2025	FY2026(累計実績) 1Q	2Q	3Q	4Q	FY2026 予想
BS項目	総資産	億円		6,369	6,438	6,349			6,030
	有利子負債	億円		2,684	2,737	2,747			2,480
	NET有利子負債	億円		2,216	2,304	2,365			2,100
	運転資本	億円		2,294	2,368	2,335			2,270
	NET運転資本	億円	流動資産-流動負債	1,017	1,135	997			-
	親会社所有者帰属持分比率	%	自己資本比率	37.7%	38.5%	38.6%			42.0%
	負債比率	%		163.4%	158.4%	157.4%			-
	D/Eレシオ	倍	有利子負債÷親会社の所有者に帰属する持分	1.12	1.11	1.12			0.99
	Net D/Eレシオ	倍	Net有利子負債(有利子負債-現預金)÷株主資本*1	1.25	1.27	1.25			1.11
CF項目	営業キャッシュフロー	億円		548	29	5			470
	投資キャッシュフロー	億円		▲468	▲73	▲129			▲290
	フリーキャッシュフロー	億円		80	▲44	▲124			180
	財務キャッシュフロー	億円		▲386	16	49			▲270
	CCC	日		108	120	119			110

＊ 過年度の実績値を遡及修正した場合は、当資料も遡及修正後の数値に基づき再表示。
＊ 上記の連結業績は億円未満を四捨五入した数値を表示。
＊1 株主資本:親会社の所有者に帰属する持分 - その他の資本の構成要素

主要製品群の販売数量推移（前年同期比）

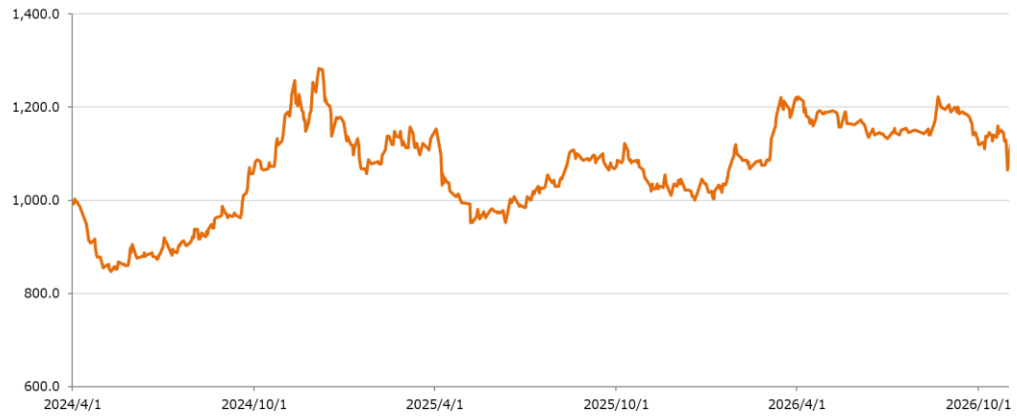
不二製油株式会社

セグメント	エリア	製品群	FY2025 実績（四半期3カ月間の比較）					FY2026 実績（四半期3カ月間の比較）				
			1Q	2Q	3Q	4Q	Total	1Q	2Q	3Q	4Q	Total
植物性油脂	日本	チョコレート用油脂（CBE、CBR、CBS）	102%	106%	110%	110%	107%	113%	107%			
	米州		76%	101%	62%	87%	81%	167%	92%			
	東南アジア		108%	77%	93%	92%	92%	88%	119%			
	欧州		112%	110%	98%	120%	110%	76%	93%			
業務用チョコレート	日本	チョコレート	100%	97%	100%	95%	98%	96%	98%			
	米州（ブラジル）		125%	104%	107%	84%	102%	89%	99%			
	東南アジア		96%	100%	107%	110%	103%	119%	118%			
	中国		96%	103%	106%	143%	111%	84%	110%			
	欧州		94%	108%	87%	114%	100%	95%	101%			
	合計（ブラマー除く）		105%	102%	103%	97%	101%	99%	104%			
	ブラマー		88%	88%	90%	90%	89%	101%	111%			
	合計（ブラマー含む）		99%	97%	99%	95%	98%	99%	106%			
乳化・発酵素材	日本	クリーム	101%	104%	101%	103%	102%	108%	99%			
		マーガリン ショートニング	96%	96%	96%	98%	96%	104%	98%			
	東南アジア	クリーム	86%	101%	91%	85%	91%	140%	92%			
	中国	マーガリン ショートニング	117%	117%	81%	119%	106%	87%	97%			
		フィリング	93%	98%	94%	92%	94%	85%	86%			
大豆加工素材	日本	大豆たん白素材	99%	94%	103%	99%	99%	104%	108%			
		機能剤	89%	83%	79%	81%	83%	107%	102%			

＊製品区分の見直し等により、過年度の実績値を遡及修正した場合は、当資料も遡及修正後の数値に基づき記載。
＊2026年度よりブラマーのカカオ製品を除き集計。過年度の実績値も遡及修正後の数値で記載。

主要原料推移（～2026年10月末）

パーム油
（RBD-PO/FOB MALAYSIA）



出所：市中（相対）価格

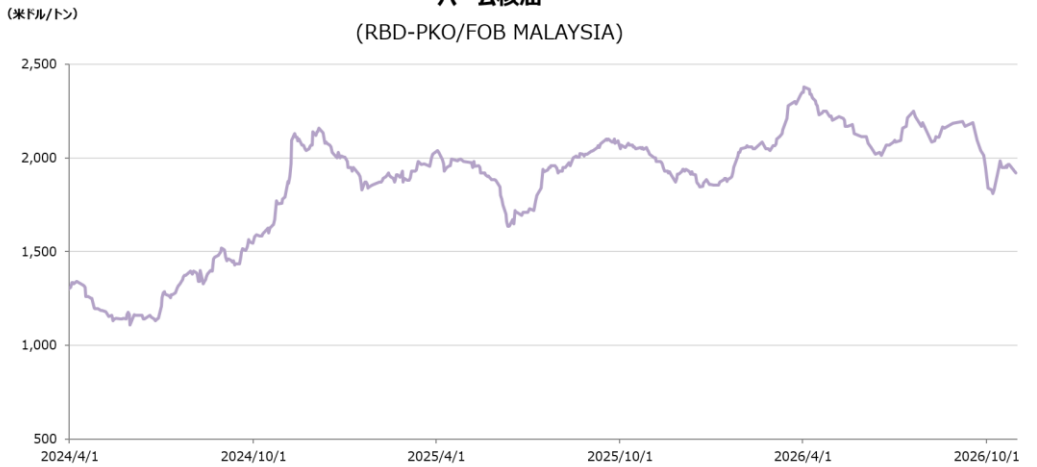
市況

エルニーニョによる減産懸念やバイオ燃料用途の需要増加を背景に、2026年8月にパーム油相場は上昇。その後、堅調な生産と在庫の積み上がりを受け、相場は調整。

（強材料）
バイオ燃料用途の需要。
エルニーニョによる2027年以降の減産懸念。

（弱材料）
マレーシアパーム油在庫の積み上がり。

パーム核油
（RBD-PKO/FOB MALAYSIA）



出所：市中（相対）価格

市況

エルニーニョによる減産懸念を背景に高値で推移したものの、パーム核油在庫が高水準にあることから、2026年9月中旬以降は軟調に推移。

（強材料）
エルニーニョによる2027年以降の減産懸念。

（弱材料）
ヤシ油相場を意識した上値抑制。

主要原料推移（～2026年10月末）



市況

足元の供給余剰や高水準の在庫が下押し要因となる一方、エルニーニョによる2026/27年度の減産・供給リスクも意識され、強弱材料が交錯する展開。

（強材料）
エルニーニョによる減産懸念。

（弱材料）
チョコレート需要低迷の可能性。



市況

中国による米国産大豆の買い付け再開への期待から、2026年9月に相場は上昇。その後、産地の良好な天候を背景とした供給増加観測を受け、足元では下落。

（強材料）
中国による米国大豆の買付拡大。
米国でのバイオ燃料向け大豆油需要増への期待。

（弱材料）
産地での良好な天候を背景とした増産期待。

主なトピックス、ピックアップ

統合報告書2026、サステナビリティレポート2026 公開のお知らせ

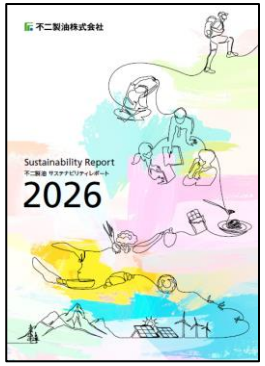
不二製油株式会社は、2026年9月11日に「統合報告書2026」、「サステナビリティレポート2026」を公開しましたので、お知らせします。当社グループでは、ステークホルダーの皆さまとの対話を深めるため、「統合報告書」と「サステナビリティレポート」を年次で発行しています。

■主な開示ポイント（統合報告書）
- **価値創造ストーリー**：4事業の強みを活かし、顧客・社会課題の解決を通じて成長につなげる中長期的な方向性を、「中期経営計画」と「その先の未来」に分けて掲載。
- **中期経営計画の進捗**：3つの基本方針ごとにページを設け、各種取り組みの進捗を掲載。

■主な開示ポイント（サステナビリティレポート）
- GRIスタンダード準拠に加え、IFRSサステナビリティ開示基準S1号を参考に開示。
- 構成の見直しにより、サステナビリティ経営の全体像と重点項目のつながりをより明確に開示。

■URL
・不二製油グループ 統合報告書 2026
https://www.fujioil.co.jp/ir/library/integrated report/index.html
・不二製油グループ サステナビリティレポート 2026
https://www.fujioil.co.jp/sustainability/





難消化性大豆たん白「MAM（マム）」、猫の腎機能維持を支える新たなペットフード素材として期待

不二製油株式会社と国立大学法人岩手大学は、難消化性大豆たん白「MAM（Microbiota Accessible Macropeptide）」が、猫の腸内環境および腎機能関連指標に与える影響について共同で研究を行い、猫の腸内環境改善と腎機能維持への有用性を示す結果が得られました。

本研究では、当社製品MAMを摂取した猫において、腸内で生成される腐敗産物や血中尿毒素の低下、便臭の改善に加え、腎機能の指標である血中クレアチニン値の低下が認められました。 これらの結果から、腸内環境と腎機能の関係（腸腎連関）を介して、猫の健康維持に寄与する可能性が示されました。本研究は、MAMが腸内環境の改善を介して、猫の腎機能の健康維持に寄与する可能性を示した初めての報告です。MAMは、猫の健康維持を支える新たなペットフード素材としての活用が期待されます。

不二製油は、これまで培ってきた大豆たん白素材の研究開発技術を活かし、ペットフード分野においても、動物の健康維持に貢献する素材の開発に取り組んでまいります。

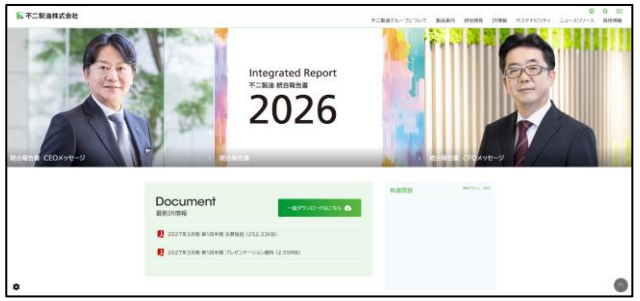
https://www.fujioil.co.jp/news/2026/20260903.html



リンク先

IR情報サイト

https://www.fujioil.co.jp/ir/



統合報告書

https://www.fujioil.co.jp/ir/library/integrated report/



Investor’s Guide

https://www.fujioil.co.jp/en/pdf/ir/investorsguide en.pdf



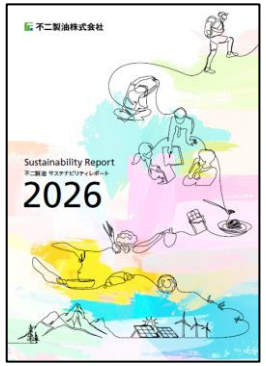
個人投資家の皆さまへ

https://www.fujioil.co.jp/ir/individual/



サステナビリティレポート

https://www.fujioil.co.jp/sustainability/



用語集

https://www.fujioil.co.jp/ir/other/glossary/



不二製油株式会社

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、本資料の発表日現在における将来の見通し、予想の前提、予測を含んで記載しており、その情報の正確性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。また、実際の業績は、今後様々な要因によって、異なる結果となる可能性があります。